

一般質問

6月8日、9日、12日から14日の5日間にわたり、33名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをいただきました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
 ※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
 ※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



渡辺さとし(まちだ市民クラブ)

不登校児童生徒 ②



町田市 23年度の不登校支援の具体的な取組項目や検討している項目は何か。
教育長 第2回の町田市不登校施策検討委員会では、学習指導等が受けられる校内教育支援センターの運営や、教育支援センターの分室の設置について検討しました。
不登校支援に特化した市のホームページづくりが重要だと考えるがどうか。
町田市不登校児童・生徒支援デスク 町市不登校児童・生徒支援デスクの取組は、併せて今後検討していきます。
本校教育部長 (仮称) 町市不登校児童・生徒支援デスクの取組は、併せて今後検討していきます。



木目田英男(選ばれる町をこころ)

アフターコロナ 公共空間



アフターコロナに関する調査研究成果を今後どのように活用するのか。
政策経営部長 研究成果をまちづくりに生かしていくに当たり、この提言内容が実現可能かどうかを広く知っていただく必要があると考えています。そのため、周知の一環として町田市未来づくり研究所の研究報告会を開催しました。これからも様々な事



若林章喜(選ばれる町をつくる会)

生成AI 活用について



生成AIの活用について検討すべきだがどうか。
榎本副市長 株式会社NTTデータとの連携、外部有識者を交えた適切な活用への検討、実際の業務への活用に向けた検討をします。3点の取組を通じ、スマートシティの実現を目指していきます。
生成AIには、情報セキュリティや誤情報などの課題があるが、どのような対応
デジタル戦略室長 AIの技術的な観点と運用側の観点を軸とします。AI活用ガイドラインを策定します。
市内で創業する機運を高めるために「町田創業プロジェクト」のさらなる周知を求める。
経済観光部長 町内会・自治会や地区協議会、税理士や行政書士の団体にもこれまで以上に周知を行っていきます。



加藤真彦(自由民主党)

四季彩の杜・モノレールの杜・伸



22年度の来園者数は131万人。200万人を目指すための町田薬師池公園四季彩の杜各施設の回遊性の課題への対策は。
経済観光部長 4人乗りの電動カートを試験的に導入予定です。グリーンスローモビリティと呼ばれるもので、運用方法の検討を進めたい。
北園はどのような整備計画を策定するのか。
多摩都市モノレール延伸の検討状況について。
都市づくり部長 23年度末にはモノレール沿線まちづくり構想を策定します。検討内容を基に都と協議、調整し、早期実現を目指していきます。



おせき重太郎(諸派)

駅の早期ホームドア設置を!



市内のホームドアの設置状況は。
都市づくり部長 南町田グランベリーパーク駅、つくし野駅、すずかけ台駅の全ホーム、JR横浜線町田駅の1番線と4番線に設置が完了しています。小田急線町田駅、JR横浜線成瀬駅も23年度中に設置が完了する予定です。
ホームドア設置が遅れていると感じる相原駅および
多摩境駅のホームドア設置の見直しは。
都市づくり部長 ホームドアの整備年度は公表されていません。早期の設置に向け、働きかけを行っていきます。
ホームドア設置まで暫定的に転落防止柵の設置など併せて働きかけをしてほしいがどうか。
都市づくり部長 暫定的な安全対策についても働きかけを行っていきます。



松葉ひろみ(公明党)

多子世帯支援か・不登校対策ほか



理想の子ども数を持たない理由の一位が、高い子育て費用であることから、多子世帯支援を幅広く実施すべき。
子ども生活部長 国や都の動向を注視するとともに、他自治体の取組について調査を行い、現在の社会情勢や町田市の状況に応じた対応に努めていきたいと考えています。
教育支援センター分室
導入を検討を始めていきます。
ユニボイスを導入しては。
地域福祉部長 既に一部導入していますが、今後、各部署で作成可能にするソフトの導入を検討を始めていきます。



秋田しづか(諸派)

子ども食堂、脱炭素、医療



子ども食堂への補助金を各運営団体が安心して活用するため先払いにできないか。
子ども生活部長 仕組みの上では補助金の先払いも可能ではありません。現在のところ、運営団体から補助金の先払いに関するご要望はいただいていませんが、各食堂の運営状況を確認しつつ、適宜研究していきます。
医療的ケア児が安心して
ユールは。
学校教育部長 教育支援センター分室は、24年度開設を目指し、不登校特例校は、まずは25年度に分教室開設を目指し、検討していきます。
市が発行する郵送物などに視覚障がい者に配慮したユニボイスを導入しては。
地域福祉部長 既に一部導入していますが、今後、各部署で作成可能にするソフトの導入を検討を始めていきます。



佐々木智子(日本共産党)

男女格差のない公共トイレを



公共施設や避難施設のトイレの男女差(便器数等の設置基準)と洋式の現状は。
営繕担当部長 男性用大便器が、同時に就業する60人当たり、女性用便所は、20人当たり1か所以上と定められています。洋式化は施設利用実態を考慮しながら判断します。
防災安全部長 女性対男性の割合を3対1として設置することを目安としています。



佐藤和彦(まちだ市民クラブ)

地域で高齢者を支えるために



地域で介護予防を推進していくために、どのような取組が行われているのか。
いきいき生活部長 見守り活動の普及啓発講座や見守り活動を行っている団体間の交流会などを開催しています。
地域で認知症高齢者を支援していくために、どのような取組を推進しているのか。
いきいき生活部長 サポーター養成講座を受講された方に、情報提供を行っています。また交流会を開催しています。



渡辺徹太郎(選ばれる町をこころ)

町田の先進事例をスリランカへ



町田の高齢者施策は注目されておりスリランカからも視察が来る。誇らしい事業を市民にも周知すべきだが。
いきいき生活部長 市が取り組んでいる好事例のほか、見える成果は積極的に公表し、市民の方から、町田市に住みたいと言っていただけでも環境づくりに努めていきます。
中心市街地への宅配バイクの乗り入れ行為を行政の
新たな課題と捉えるべきだが。
都市整備担当部長 町田駅周辺をウォークアブルな町にしていく上で、フードデリバリーサービスの利用が拡大したことにより生じている新たな課題と認識しています。
平和の尊さを将来にわたって引き継ぐため戦没者合同慰霊塔への案内看板を求む。
地域福祉部長 なるべく早く設置できますように関係機関と調整を進めていきます。



中川幸太郎(諸派)

デジタルの環境整備



DXによる効果額は。
榎本副市長 効果が大きく見込まれる業務を中心に、延べ2230時間の効率化ができました。市民の利便性向上と合わせた22年度効果額は、現在集計中ですが、約2億8000万円と見込んでいます。
町田市における待機児童についての市の認識は。
子ども生活部長 今後も南地域を中心に低年齢児の保育